

「知財データの証拠性確保に利用されるタイムスタンプ」

～タイムスタンプ保管サービスの徹底解析、改訂先使用権ガイドラインの説明と最新事例紹介～

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【協力】 アマノビジネスソリューションズ株式会社

従来、発明した技術は特許権を取得するのが通例であったが、ここ数年、市場を取り巻く環境の変化に伴い、さまざまな運用になってきております。

- ①特許権取得における費用軽減や情報開示を避けるために技術情報やノウハウを秘匿化する企業が増加
- ②共同研究・共同開発時に、自社の技術やノウハウが流出しトラブルに発展
- ③コンピュータの普及に伴う電子での管理・運営



このような変化に対応するため、持っている技術・ノウハウを「いつから」研究等していたかを電子的に証明する手段として、タイムスタンプの活用が増えてきています。



当協会でも3年前から開催しておりますタイムスタンプセミナーですが、多くのご要望にお応えし、内容を大幅にリニューアルしての開催をいたします。今回は本年3月27日に特許庁所管の独立行政法人 工業所有権情報・研修館でサービスが開始された「タイムスタンプ保管サービス」を実際のデモを交えての説明、また昨年7月4日に公開された「先使用権制度の円滑な活用に向けて—戦略的なノウハウ管理のために—」（第2版）の概要説明や、実名でのお客様導入事例、その他最新トピックスについて、ご説明いたします。

【開催概要】

開催日	平成29年9月5日（火）14時30分～17時00分
開催場所	会場：大阪大学中之島センター 5階講義室507
募集人数	50名（定員になり次第締め切らせていただきます）
講師	山口 学 氏 （アマノビジネスソリューションズ株式会社 TBP事業推進部）
参加費	発明協会グループ会員 無 料 一般（非会員）5,000円（テキスト代含む、消費税込み） ※一般の皆様へ（1）3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできません。 （2）一般参加者の受講料請求書は、開催日の10日前頃に郵送いたします

申込先

一般社団法人 大阪発明協会 (<http://www.jiiosaka.jp/>)

電話 06-6479-1926 FAX 06-6479-3930

